



さくらっこ!

戸塚区青少年指導員協議会は 戸塚区青指

検索



目次

- P.1…偏った情報に振り回されていませんか／P.2・3…楽しい工作 いろいろ作ろう！～工作紹介～
- P.4…チャレンジフェスティバル各コーナー紹介・29年度下期行事・30年度上期行事予定



『偏った情報に振り回されていませんか』

いまは情報過多といわれています。日常生活での危険を回避し、用心するためには、何を信用して何に注意をしなくてはいけないのでしょうか。

「警察官が痴漢行為」「医師が集団暴行」「子どもが挨拶したから誘拐した」などのニュースを見ると、警察や医者は信用できない、挨拶はしない方がいい、などと思つてしまいがちです。しかし「よくあること」はニュースになりません。「滅多に起きないこと」だからこそニュースになることを忘れてはいけません。

また、「私たちの周りにはダニやばい菌がいっぱいです」というCMを見ると、全ての微生物や細菌が私たちに害を及ぼすように感じてしまいがちです。

SNSの世界ではたった一人の勘違い、思い込み、あるいは悪意で流された“デマ”があつという間に拡散されます。「火のない所に煙は立たぬ」と言われますが、今や「火がなくても炎上する」ことがよくある、ということを認識しなくてはなりません。

「情報」を正しく判断するには、知識とともに客觀性が大切です。偏ることなく「情報」を判断するためには、まず客觀性を阻害する無意識の「心の作用」を知ることが重要です。ここでは代表的な3つを紹介します。

知覚の選択性

～多くの事柄から無意識に選んで認識～

私たちは、日常生活の多くの事柄から、自分の興味・関心・欲求によって選んで認識しています。これを「知覚の選択性」といいます。運動会で多くの子どもたちの中から自分の子はすぐに見付けられるのがこの現象です。子どもの短所ばかりに目がいつて、叱り過ぎていませんか？

良形視

～物事を都合が良いように解釈～

自分にとって都合の良いように解釈したり感じたりする心の作用のことを「良形視」といいます。自分が一度「好人物」と評価した相手からの詐欺行為になかなか気付かないのが良形視です。逆に「悪人」と評価した相手が善い行いをしても、それをなかなか認められないのも同じです。「うちの子に限って」と親が本当の子どもの姿を見失っていないか？

体制化（統合作用）

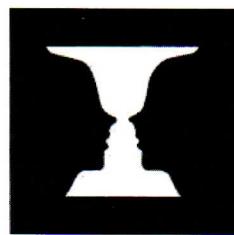
～似たものを同じものと捉える～

同じものや似たものをまとめて捉えてしまう心の作用を「体制化」といいます。冒頭の警察官や医師のように、同じ職業の人は同じ事をするように思えたり、過去と現在のことを関連付けてしまったりする現象です。デマや流言を信じるのもこの心の作用です。

ニュースやCMは、これらの「心の作用」をうまく利用して、注目を集めたり、購買意欲を高めたりしています。私たちは「心の作用」を生まれながらに持っていて、残念ながらこれをなくすことはできません。しかし「心の作用」を知ることで、自分の持つ「思い込み」や「決め付け」にブレーキをかけることができます。

統計によると、現在は30年前に比べて犯罪も大幅に減り生活しやすい環境になっています。それにも関わらずストレス社会と言われるのは、入ってくる情報を上手に取捨選択出来ていないからなのかも知れません。

多くの情報の中から、何が正しく本当に必要なかを客觀性を持って判断し、余計なストレスを感じることのないように、親子で情報過多の時代を乗り切りましょう。



「盃」か「向き合った顔」か、どちらかにしか見えない